

年末年始
展示イベント
「ユリ」

みんなく収蔵の資料や世界各地の「ユリ」に関する情報を映像・パネルなどを使ってご紹介いたします。
会期 二月二日(火)まで
会場 常設展示場内

◆研究者によるギャラリートーク
実施日 一月二日(月・祝)
時間 一時〜一時三十分
一四時〜一四時三十分
◆「ユリを追って世界一周」
実施日 一月二日(月・祝)
時間 一時三十分〜一六時
会場 本館一階エントランス・常設展示場
参加費 無料

◆MMP企画「おりがみて遊ぼう!」
千支シリーズ「寅」
実施日 一月二日(月・祝)
時間 一時三十分〜一五時
一〇分の間、七回実施(各回三〇分ずつ)
会場 本館一階エントランス
定員 各回二〇名程度(当日受付)
参加費 無料
※対象は小学一年生からです。
お問い合わせ
情報企画課情報企画係
電話 〇六六八七八八五三三
(平日九時〜一七時)

春のみんなくフォーラム
二〇一〇年「西アジア再発見」
大村次郷写真展「西アジア、祈りの風景」
会期 一月八日(金)〜三月三〇日(火)
会場 本館一階エントランス
観覧料 無料

①「織機をつくる」
実施日 一月二七日(日)
時間 一時三十分〜一六時三十分
会場 本館一階エントランス
定員 一五名(事前申込制・抽選)
実費 五〇円
申込締切日 一月六日(水)
参加申込方法
参加人数・参加者氏名・年齢・代表者の郵便番号と住所・電話またはFAX番号を書いて左記ワークショップ(じゅうたん)係までお申し込みください。
E-mail: workshop@tdc.ninpaku.ac.jp
FAX 〇六六八七八八七五三三

②「じゅうたんを織ろう」
実施日 一月二九日(火)〜三月二七日(土)までの火・木・土・日・祝日
時間 一時〜二時と、二時〜一六時の間、随時
会場 本館一階エントランス
※申込不要。参加は無料です。
絵本読み聞かせ「絵本で旅する詩の国」
実施日 二月七日(日)
会場 本館一階エントランス
※申込不要。参加は無料です。

◆音楽展示・言語展示を改修のため閉鎖しています。
期間 三月三日(火)まで(予定)
●休館日・無料観覧日のお知らせ
年始は一月四日(月)まで休館します。
一月二日(月・祝)成人の日は、常設展を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
*詳細については、みんなくホームページをご覧ください。

◆みんなくワールドシネマ
「オアシド・ガールズ」
実施日 一月三〇日(土)
時間 一時三十分〜一五時三十分(開場 一三時)

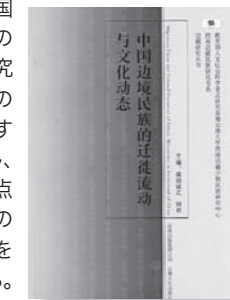
刊行物紹介

■Hidefujii Sameda / Yuji Seki (editors)
『Miradas al Tahuantinsuyo: aproximaciones de peruanistas japoneses al imperio de los Incas』
FONDO EDITORIAL 価格:1,500円(税込)
(スペイン語)



近世ヨーロッパ史観のもとで誕生した南米インカ帝国に対するイメージについて、錯綜する生成・流用の過程および実態を分析する。日本人研究者がスペイン語で執筆し、現地ペルーの学界に挑んだ意欲的な論集。

■塚田誠之・何明 編
『中国辺境民族的遷徙流動と文化動態』
雲南人民出版社、非売品(中国語)



中国で開催した国際シンポジウムの成果で、日中の研究者24名が、中国の国境地域に暮らす諸民族を対象とし、移動と交流に焦点を当て、また最新の民族文化の動態を幅広く論じている。

■池谷和信 編著
『地球環境史からの問い ヒトと自然の共生とは何か』
岩波書店 定価:2,730円(税込)



いま環境問題が人類への急務の課題となっている。その一方で一面的なエコポリティクス(自然保護政策)のため、古くから自然と共生してきた人々が排除され、各地で論争や紛争まで引き起こしている。本書はヒトと自然=地球の生態との歴史的な関わりを学際的に明らかにし、「ヒトと自然の共生」とは何かを問いなおす。

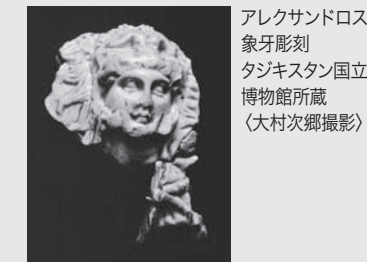
みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30~15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第380回 1月16日(土)
対談 アレクサンドロスの道を撮る
—写真家、大村次郷x山中由里子

講師 大村次郷(写真家)、山中由里子(民族文化研究部准教授)
アジア各地を隈なく写真に撮り続ける大村次郷氏との対談。大村氏のライフワークの一つはアレクサンドロス大王の足跡を追い、写真に撮ることです。大王の東方遠征の行程を写真で辿りながら、大村氏が現地での体験を語り、アレクサンドロス伝説を研究する当館准教授・山中由里子が各地にまつわる逸話や伝承などを紹介します。



アレクサンドロス
象牙彫刻
タジキスタン国立
博物館所蔵
(大村次郷撮影)

第381回 2月20日(土)
あたらしいアフリカ展示のメッセージ

講師 竹沢尚一郎(民族文化研究部教授)ほか
30年前に誕生した民博のアフリカ展示が、2009年3月、はじめて全面的に改修されました。アフリカを知らない人が見ても、アフリカ理解の手がかりを得られる、そんな展示にしたい。アフリカ展示チームは、そのような思いで展示作りに励んできました。「展示ができるまで」の熱い議論を、少しだけ紹介します。



友の会

友の会講演会
会場●国立民族学博物館
第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

第380回 2月6日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
ガンディーの大英帝国
講師 杉本良男(民族社会研究部教授)
長くイギリスの植民地であったインドの人びとは、イギリスをどのようにとらえているのでしょうか。必ずしも支配された者としての被害者意識だけではないようです。言語や生活文化、宗教など大きな影響を受けている部分もあります。インド独立の父とも称されるガンディーに注目して考えます。

第381回 3月6日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
アジアにとってのアジア
講師 田村克己(民族社会研究部教授)

東京講演会
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム202
定員●40名(要申込、メールかFAXで下記へお申込みください)

第90回 1月17日(日)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
先住民の現在を読み解く(1)
アフリカの狩猟採集民の事例から
講師 池谷和信(民族社会研究部教授)

第91回 2月28日(日)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
先住民の現在を読み解く(2)
先住民としての「権利」獲得とその後
講師 松山利夫(民族文化研究部教授)
世界に先駆けて先住民の同化政策から共生政策への転換をおこなったオーストラリアですが、再び大きな転換点を迎えています。アボリジナルの社会システムや家族関係の視点から、その政策の裏側にある事情を読み解きます。

国立民族学博物館 友の会

電話 06-6877-8893 ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは月曜~金曜日9時から17時までをお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

遊牧民の伝統的な毛織物
「キリム」

昼夜、寒暖の差がはげしい、中央アジアの砂漠地帯。そこで生活をいとむ遊牧民達が愛用している「キリム」は、羊やラクダの毛を使い、母から娘へと



ポーチ(1,890円~)・クッションカバー(3,045円~)

受け継がれる個性的な模様を織り込んだ、伝統的かつ実用的な毛織物です。まだまだ寒い日の続く初春。長年現地で使用されてきた「キリム」を再利用し、素材としてとりいれた様々な商品をミュージアム・ショップでも紹介しております。目に美しく、触れてあたたかな「キリム」。是非手にとってご覧ください。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp